

US OPEN レポート

海外遠征を振り返って



アーサーアッシュスタジアムにて

団長 矢野 智
監督 馬瀬 隆彦

今回合宿を含め 16 日間の海外遠征から、全員無事帰国できたことをご報告申し上げます。選手を含め私も期待と不安を抱きながらの初めての US オープンジュニアの参加でありました。しかし、アメアスポーツのスタッフの方々が選手達に最高の結果を出すために合宿から現地での練習に至るまで、精一杯のサポートをしていただいたお陰で何のトラブルもなく終了することができました。あらためて、アメアスポーツ(株)の方々に対し感謝申し上げます。

さて、問題の試合は残念ながら男女共 1 回戦で敗退してしまいました。男子は皮肉にも全国選抜大会の決勝で争った会田君(湘南工大付属)との対戦となりました。女子はロシアの選手と対戦しましたが、攻撃的なテニスになかなかゲームが取れず破れてしまいました。しかし、男女共力不足とは言え、準備段階からすべてやることはやっての結果なので、満足したのではないかと思います。

ただ今回海外遠征に参加させていただいて、痛切に感じたことがあります。今後全国選抜(個人戦)の選考会に参加する選手には「US オープンジュニア大会がどれだけ素晴らしい大会か、またこの大会に参加するためにはかなりの実績がないと出場出来ない」ということをもっと理解させ、選考会に臨ませなければならないということです。それだけ US オープンは素晴らしい大会であるということです。

最後に、今後 US オープンの大会に参加する選手は日本の代表選手であるプライドを持ち、貧欲に参加されることを強く望みます。決して「良い経験をした」だけで終わってほしくないからです。

「世界に勝てる選手」になることを切望します。



仁木拓人(竹園高等学校)

まず初めに、今回の遠征において多くのご支援とご協力をいただいた古賀先生を初めとする全国高体連の先生方、アメアスポーツの皆様には感謝したいと思います。ありがとうございました。

自分は予選1回戦で負けてしまい、目標であった予選突破は出来ませんでした。勝ちにつなげられるチャンスを逃して負けたことはとても悔しいですが、相手との勝負を楽しめ、その場の雰囲気を楽しむことが出来たのは久しぶりだったので、そのような試合が出来たことは良かったと思います。

また、トップブロの試合や練習を間近で見ることができたことや、自分の夢であったUSオープンジュニアに出場出来たことは、今後自分がテニスをしていく上でとても貴重な体験になりました。今回自分が見て体験したことを忘れずに、たくさん練習してより多くの経験を積んで、もっと強くなって、またこのUSオープンの舞台でプレー出来るくらいになりたいです。そして今度は試合に勝って、今回お世話になった方々に恩返しをしたいと思っています。

ありがとうございました。



浜崎 歩(長尾谷高等学校)

今回USオープンジュニアに出場させてもらいとてもいい経験になりました。本当にありがとうございました。アメアスポーツのスタッフの方々には合宿の初日からニューヨークでの最終日まで毎日お世話になり、たくさん

サポートしてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。今大会に出ることができたのも、全国高体連の方々を初め色々な方々がお世話をしていただいたお陰だと思っています。

予選の1回戦ではロシアの選手と対戦して負けてしまいました。相手は攻撃的なテニスで自分の思うようなテニスをさせてもらえませんでした。世界に出てくる選手はみんな1ポイントにかけていたと思うし、いろんな選手を目にして学ぶことが出来ました。来年もチャレンジしたいと思います。そしてこれからも世界で戦っていくことができるように練習して成長していきたいです。

試合結果



男子（1回戦）

仁木 拓人（竹園高校）	3 - 6	AIDA Sho （JPN）
	3 - 6	

女子（1回戦）

浜崎 歩（長尾谷高校）	3 - 6	KOSMINSKAYA Ekaterina（RUS）
	1 - 6	